高齢者に安心の暮らしを／保育園と学童保育の質の確保を

木村まゆみ議員（日本共産党小平市議団）

地域包括ケアシステムで高齢者の安心は守られるか

質問 ①買い物、移動、預貯金管理などの事業化の検討状況は。

②現在把握している見守りの必要な高齢者は何人か。

③特養などの待機者は何人か。

市長 ①生活支援コーディネーターの活動を通してニーズとのマッチングの中で検討していく。

②29年12月末で247人である。

③29年6月末で特養367人、グループホーム31人である。

保育、学童保育はガイドラインの策定で質の確保を

質問 ①保育園の質の確保には監査が必要だが人員は十分か。

②保育の質向上のためガイドラインが必要と考えるがどうか。

③学童クラブの設置増に見合う職員の増が図られているか。

④学童クラブの運営のガイドラインが必要と考えるがどうか。

市長 ①市主体の監査実施に向けて体制の整備を進めている。

②指導監査の実施に必要な基準の作成を検討していく。

③10年前は担当職員3人で1人当たり376人の児童と8施設を、29年度は担当職員4人で1人当たり392人の児童と8施設を担当。

④現在、市の条例と厚生労働省が策定した運営指針に基づき運営を行っている。

再び子どもの権利を保障するため担保されるべき保育について

さとう悦子議員（生活者ネットワーク）

再び子どもの権利を保障するため担保されるべき保育について

質問 ①30年度の保育園入園希望者の申し込み状況は。

②就学前の子どもたちの育ちに関する理念はどこに示されているか。

③市立保育園の保育理念、目標はどこに示してあるか。

④子どもが最もよく生きるために市として行っていることは。また、子どもの意向を把握するために何を行っているか。

⑤市立、私立保育園の情報交換の場で話し合われることは。

市長 ①一次受け付けでは前年比149人減であり、過去5年間の増加傾向から減少に転じた。

②子ども・子育て支援事業計画において、子ども・子育て支援推進の基本理念を示している。

③市ホームページに掲載するとともに各園に掲示している。

④市立保育園では市の保育目標を踏まえて子どもの年齢に応じた指導計画等を作成している。また、子どもの行動等から成長する力を読み取り、生きる力の基礎が身につくよう努めている。

⑤保育課題や人材育成、食育等の情報交換は保育の質の確保等につながる重要な機会である。また、園長会に市内を4つの地区に分けた分科会をつくり、相互訪問している。

プレーパーク／たかの街道の整備／生活保護世帯への市の支援

橋本久雄議員（緑の党こだいら）

全く使われていないプレーパークと言われる場所の活用は

質問 ①小平市にプレーパークはあるのか。

②どうアナウンスしているか。

③プレーパークに人を配置するという公約の取り組みは。

市長 ①中央公園ときつねっぱら公園にエリアがある。

②広報はしていない。

③人員配置は難しいと考える。

幅員28メートルの都市計画道路ではなく、たかの街道の整備を

質問 ①都市計画道路3・3・3号線の優先整備路線部分の整備状況は。

②計画全体の説明会を都に要望できないか。

③たかの街道の整備計画を市民参加でつくれないか。

市長 ①都から具体的な事業スケジュールは示されていない。

②情報提供等丁寧に進めるよう要望している。

③策定する予定はない。

生活保護基準引き下げに対する市独自の支援策を

質問 ①生活保護を受けず生活保護基準以下で暮らす世帯数は。

②基準引き下げによる影響を最小限にする市の支援策は。

市長 ①推計で約5千百世帯。

②国の動向を注視していく。

▶きつねっぱら公園のプレーパークエリア

暮らしやすいまちづくり／たかの台地域周辺の安全対策

山岸真知子議員（市議会公明党）

高齢になっても認知症になっても暮らしやすいまちづくり

質問 ①横浜市瀬谷区のかかりつけ医と認知症専門医が連携する仕組みは有効だが見解は。

②ひとり暮らし高齢者等の的確な実情把握のため、地域包括支援センター、民生委員等の連携で訪問活動を実施できないか。

市長 ①国立精神・神経医療研究センター病院を中心にネットワーク構築等に取り組んでいく。

②生活状況アンケート等により実態把握に努めているが、今後見守り体制の一層の充実に向け、地域包括ケアシステム構築の取り組みの中で研究していく。

たかの台地域周辺の安全対策について

質問 ①たかの街道と水車通りの交差点における通学時見守りの検討状況は。

②青梅街道歩道にガードパイプ未設置の部分がある。都に設置要望すべきと考えるが見解は。

教育長 ①現在、小学校通学路の安全見守りボランティアの募集に向け準備を行っており、地域の協力を得たいと考える。

市長 ②未設置場所は狭い場所が多く、歩行者等のすれ違いに影響が出るため設置していないと聞いている。今後も安全状況に注意し都に要望していく。

太陽光発電日本一小平を目指しさらに一歩工夫して前に進もう

永田政弘議員（政和会）

太陽光発電日本一小平を目指しさらに一歩工夫して前に進もう

質問 ①太陽光発電設備の設置による投資額経費と売電額は。

②売電収益を安心・安全のまちづくりや環境保全事業を通じ、市民に還元し役立てられないか。

③公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の導入や、包括的施設リース契約による太陽光発電事業を考えられないか。

市長 ①把握できた概算値で13年度から28年度までの累計32施設の総設置費用は5億6千8万9千6百98円、市負担額は1億9千2百80万9百33円、売電額は4百92万8千6百69円である。

②太陽光設備の設置に当たり、設置施設での自家消費を前提としてきた。売電収益は設置施設の維持管理費用に充当することで、施設を利用する市民に還元できていると認識している。

③公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の導入は、都のガイドラインによると契約期間20年以上が前提で、課題がある。包括的施設リース契約は、リース料支払いを売電額で賄うことが前提で、初期投資が多額のメガソーラーなどに適したものである。太陽光発電設備の設置は、引き続き国や都の補助金等を活用し、先行自治体の事例等も視野に入れながら研究していく。

ジェンダー視点からのメディアリテラシー／香りの害

山﨑とも子議員（生活者ネットワーク）

ジェンダーの視点からメディアリテラシーを考える

質問 ①市の公的広報のガイドラインの中に女性を性的対象物としないという項目はあるか。

②このガイドラインを使い職員に対し研修、意識啓発を行っているか。

③子どもに影響のある、性を商品化した有害図書への対策は。

市長 ①「男女平等差別用語の視点から広報紙パンフレットなどを作成するときの視点」の中に女性をむやみにアイキャッチャーにしないという視点がある。

②必要なときに活用できるようにしており、市報等の作成研修等を通じ周知している。

教育長 ③都の条例で、青少年の健全な成長を阻害するおそれがある図書類を不健全図書に指定し規制できるとされている。

香りがもたらす害、香害の健康被害について

質問 ①香害を認識しているか。

②香害について情報提供や啓発活動を行っていく予定は。

市長 ①洗濯洗剤や柔軟剤等が含む香料や香り成分等の化学物質が原因で不快感や健康被害を受ける香りの害と認識している。

②国や東京都などの関係機関より情報収集するとともに情報提供、周知、啓発を検討する。

職員の地域力を高める参画、貢献とは／まちづくりの諸課題

磯山　亮議員（政和会）

職員に求められる地域力を高めるための参画、貢献とは何か

質問 ①職員の市内在住率は。

②職員が勤務時間外に地域活動に参画等することが、地域を支えるために必要だが見解は。

③神戸市等で採用している地域貢献応援制度導入への見解は。

市長 ①平成29年4月1日現在、36・6％である。

②多くの市民が地域活動に参画してもらうことは重要であり、その中で職員が参画等することは、自己啓発にもなると考える。

③同制度は地方公務員法第38条を緩やかに運用した例で、現状でも規定の範囲内で地域貢献は可能と考えている。

花小金井駅周辺地区を初めとするまちづくりの諸課題について

質問 ①幹線道路の歩道の電柱は歩行者の通行を阻害しており、無電柱化が必要だが見解は。

②花小金井南中学校地域開放型体育館の現状は。

市長 ①無電柱化は安全な交通の確保等に有効だと認識している。今後も事業経験を重ね、無電柱化のあり方を研究していく。

教育長 ②多目的室を武道場に隣接させ一体利用を可能としたほか談話スペースを個室化するなどレイアウト変更等を行った。現在は実施設計を行っている。